

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<20週> 手足口病 熊本県で今週定点当たり報告数が7.9、患者からEV71分離も / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<麻疹流行状況> 第20週の報告患者総数は958で、定点当たり報告数は0.32



病原体情報
P.5

患者から分離されたウイルス検出報告 感染性胃腸炎・SRSVおよびロタウイルス / 咽頭結膜熱 / 流行性角結膜炎 / 手足口病



IASRからの速報
P.6

インフルエンザシーズンにおけるコクサッキーウイルスB5型の散発流行について - 香川県



海外感染症情報
P.7

病原性大腸菌感染症(O157)の流行 - カナダ、オンタリオ州 / ミクロネシア(ポンペイ島)におけるコレラの流行 / 他



感染症の話
P.8-10

VRE
バイコマイシン耐性腸球菌は病原性は非常に弱いですが、術後患者や感染防御機能の低下した患者は注意が必要



読者のコーナー
P.11



グラフ総覧(20週)
P.12-18



20週のデータ
P.19-26



発生動向総覧

第20週コメント 5月26日集計分

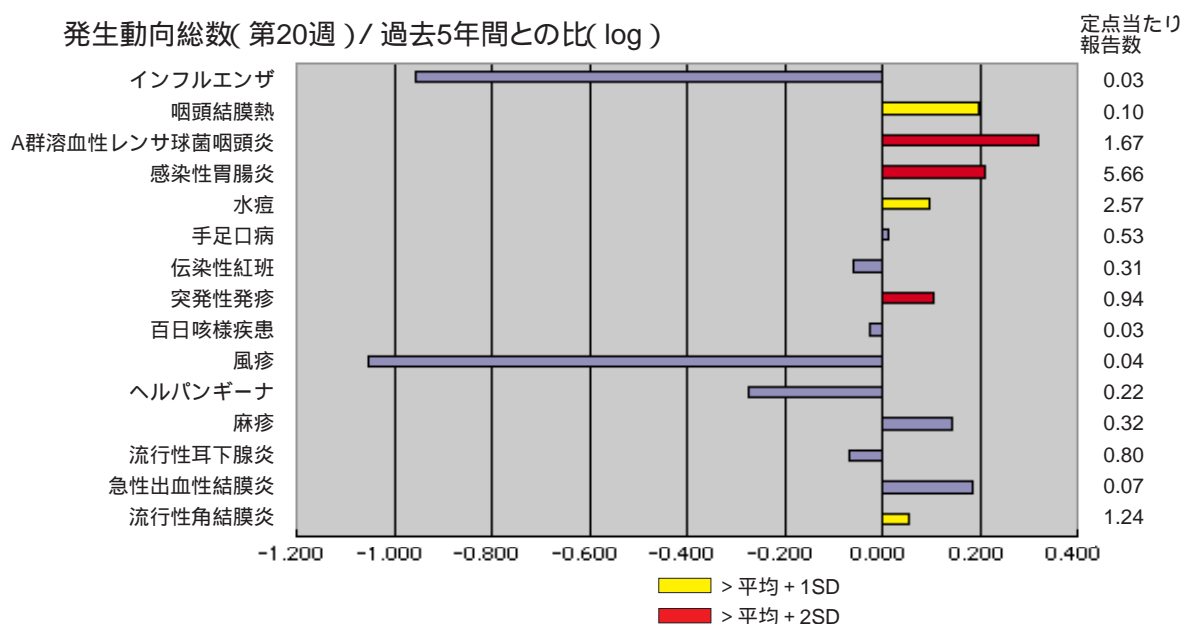
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: コレラ2例(推定感染地: インド1例、タイ・マレーシア1例)
細菌性赤痢5例(推定感染地: 国内1例、インド2例、タイ1例、ケニア1例)
ジフテリア1例(詳細は調査中)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症36例
 - 4類感染症: アメーバ赤痢3例、
急性ウイルス性肝炎16例 A型6例__推定感染地: 6例とも国内
B型5例__うち性感染症2例
C型1例
その他2例__サイトメガロウイルス1例、EBウイルス1例
不明2例
- クロイツフェルト・ヤコブ病2例(孤発性)、後天性免疫不全症候群10例、ジアルジア症1例、ツツガムシ病8例、日本紅斑熱1例、梅毒11例、破傷風1例、レジオネラ症1例、マラリア2例(熱帯熱マラリア2例__推定感染地: インド1例、その他1例)
ツツガムシ病は東北・北陸地方で例年5月に報告数が最も多く、今年も5月に入り同地方からの報告数が増加している。

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎の定点当たり報告数が例年の同時期よりかなり多く、過去10年間で最大の流行曲線を描いている(12-13ページグラフ総覧、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎参照)。患者の年齢階級別で見ると、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、3歳から7歳の小児が全体の70%を占め、ピークは4~6歳にある。感染性胃腸炎は7歳以下の小児が全体の74%を占め、ピークは先週までは1歳にあったが、今週は4歳にシフトしている(感染性胃腸炎の病原体については5ページ参照)。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は鳥取県で定点当たり報告数5.3、宮崎県で定点当たり報告数5.2と多くなっている。感染性胃腸炎は福井、鳥取、山口、愛媛、大分、宮崎の各県で定点当たり報告数が10を越えている。水痘と咽頭結膜熱は、例年の同時期に比べ定点当たり報告数がやや多くなっている。手足口病は熊本県で流行中で、定点当たり報告数が7.9と多く、患者からEV71が分離されたと報告されている(5ページ病原体情報参照)。同県では今週無菌性髄膜炎も8例と多くなっており、EV71が分離された例が報告された(感染症情報センターホームページ・IASR速報記事参照)。麻疹は依然大阪府や千葉県で大きな流行となっている(4ページ注目すべき感染症参照)。流行性角結膜炎は宮崎県、茨城県、栃木県などで定点当たり報告数が多くなっている。

発生動向総数(第20週)/過去5年間との比(log)

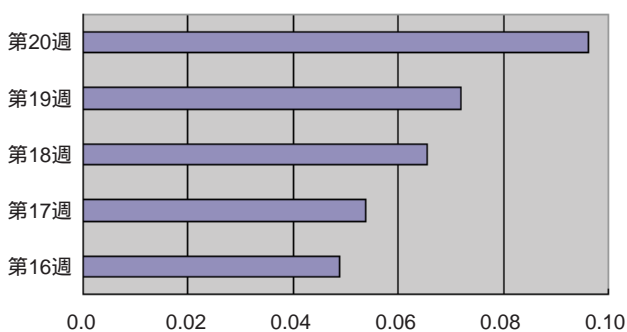


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

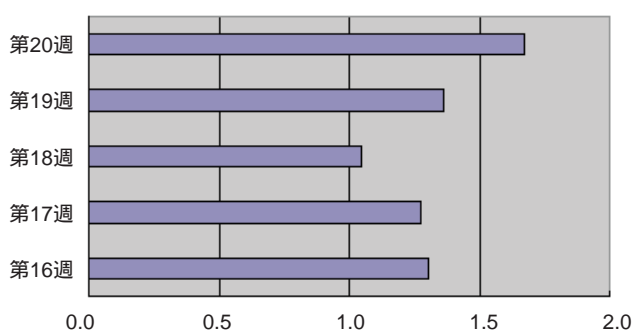
最近の注目疾患-5週間の動き

咽頭結膜熱の定点当たり報告数はこここのところ毎週増加している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は連休中に一時定点当たり報告数が減少したが、ここ2週は前週を上回っている。水痘、麻疹、流行性角結膜炎は連休明けに一時定点当たり報告数が増加したが、今週は前週より減少している。

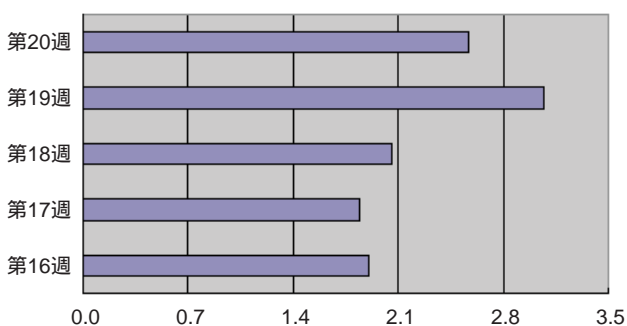
咽頭結膜熱



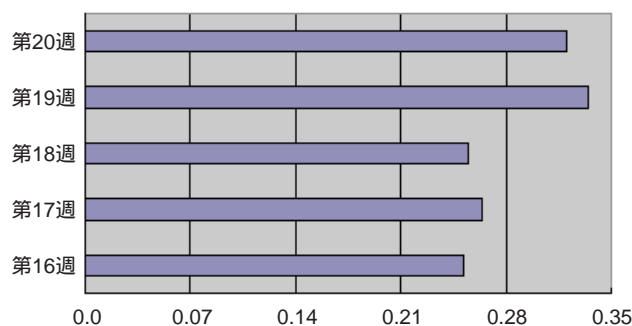
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



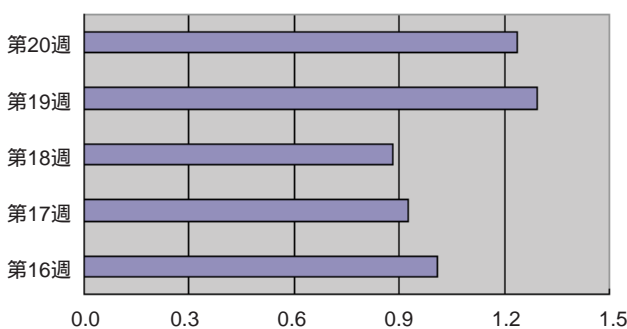
水痘



麻疹



流行性角結膜炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

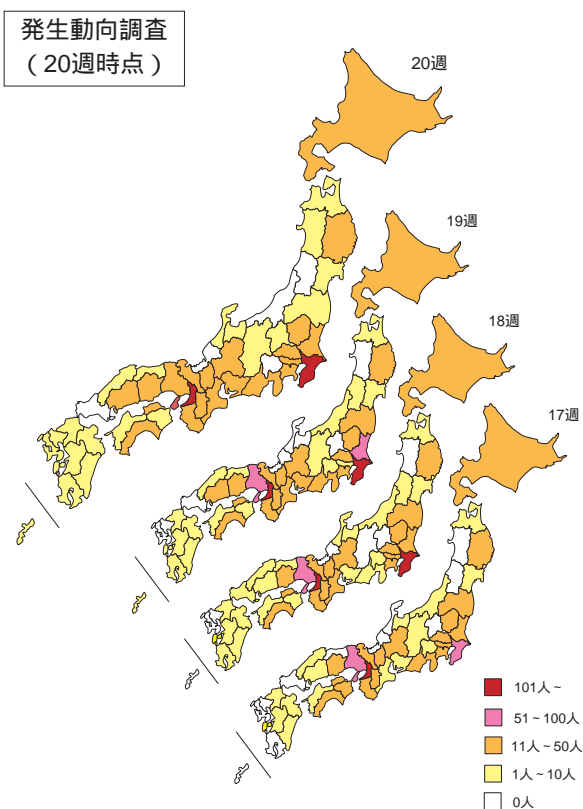
麻疹流行状況

2000年第20週(5月15日～5月21日)の、全国定点医療機関からの麻疹報告患者総数は958で、定点当たり報告数は0.32であった。2000年第1週から第20週までの累積患者数は9,597、性別内訳は男5,281、女4,316とやや男性に多い。年齢階級別では1歳未満1,312(うち6ヶ月以下150)、1歳2,287、2歳1,014、3歳734、4歳599、5～9歳2,108、10～19歳1,360、20歳以上183となっている。1999年4月より施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下新法)」によれば、小児科定点から報告される麻疹患者は18歳未満の小児であるが、小児科を受診する成人麻疹患者もあり、実際はこれらの症例が小児科定点を通じて報告されている。

新法では別に「成人麻疹」という項目を設けてサーベイランスを行っているが、これらの症例は基幹病院定点からの報告であり、多くは入院を要するような比較的重症例であると考えられる。2000年第1週からの成人麻疹累積患者数は131で、年齢階級別では、～19歳45、20～24歳44、25～29歳20、30～34歳16、35～39歳4、40～44歳2となっている。

今年の麻疹流行曲線(15ページグラフ総覧、麻疹参照)をみると、過去10年間と比較して特に大きな流行とはいえないが、95、97、98、99年より定点当たり報告数が多くなっている。現在のところ、都道府県別では、右の地図グラフで示すように、大阪府、千葉県、兵庫県、茨城県、和歌山県、神奈川県、岡山県、滋賀県、栃木県、岐阜県、岩手県などで患者報告数が多くなっている。

基幹病院定点より報告される4類感染症の病原体報告によると、2000年第20週までに急性脳炎から麻疹ウイルスの分離が1件、クラミジア肺炎と診断された症例から麻疹ウイルスの分離が4件報告されている。成人麻疹の患者から分離されたウイルスは、麻疹ウイルス75件、風疹ウイルス7件、その他の病原体9件であった。





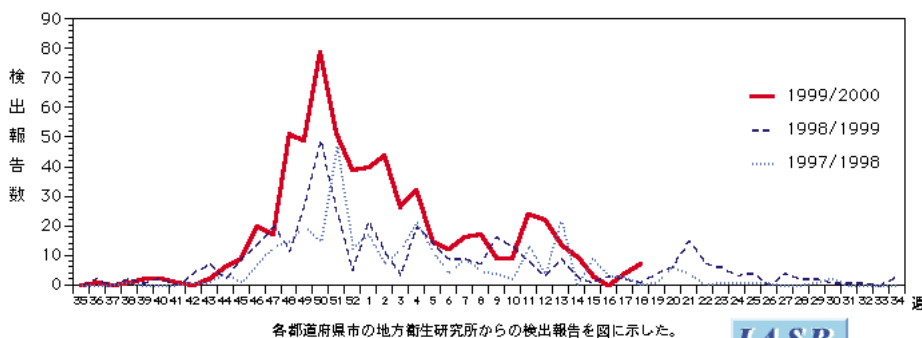
病原体情報

感染性胃腸炎 1999/2000シーズン* SRSVおよびロタウイルス 検出報告(2000年5月29日現在報告分)

今シーズンのSRSV検出総数は634件で、検出報告数は1999年第50週をピークに減少してきたが、第10週より再びわずかな増加を示している。今シーズンのロタウイルス検出総数は455件で、2000年に入って大阪府、奈良県、新潟県、香川県、大阪市などから計410件の検出報告があった。ロタウイルスの検出報告は、現在のところ2000年第8、9週をピークとしてしばらく検出が続いている。

*1999/2000シーズンは1999年第35週(8/29-9/4)から。

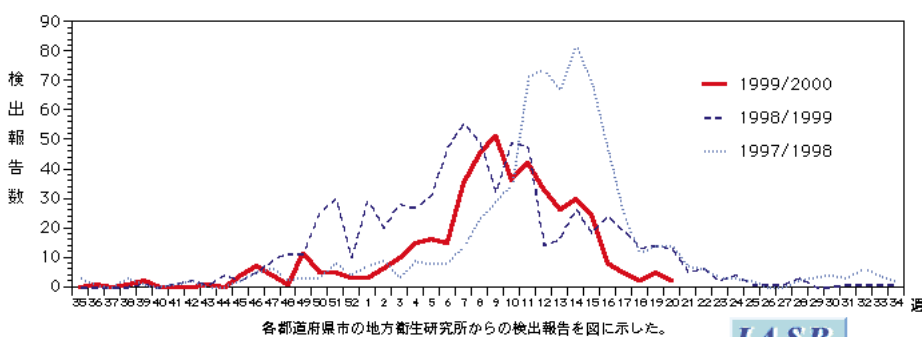
週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較(1997/1998、1998/1999、1999/2000)
(病原微生物検出情報: 2000年5月24日現在報告数)



IASR

Infectious Agents Surveillance Report

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較(1997/1998、1998/1999、1999/2000)
(病原微生物検出情報: 2000年5月24日現在報告数)



IASR

Infectious Agents Surveillance Report

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス

2000年(2000年5月29日現在報告分)

アデノウイルス1型が長野県(第8週)と新潟県(第14週)からそれぞれ1件、2型は長野県(第2週)と広島市(第8週)で各1件、3型は大阪府(第3週)から1件、4型は新潟県(第5週)から1件の分離報告があった。

流行性角結膜炎患者から分離されたウイルス

2000年(2000年5月29日現在報告分)

岡山県からアデノウイルス4型が2件(第2週、5週)とアデノウイルス37型が1件(第5週)、神奈川県からアデノウイルス19型が1件(第2週)の分離報告があった。

手足口病患者から分離されたウイルス

2000年(2000年5月29日現在報告分)

コクサッキーウイルスA16型が大阪市で1件(第10週)、エンテロウイルス71型が大阪府で2件(第6週、9週)と熊本県で2件(第13、14週)の分離報告があった。

インフルエンザシーズンにおけるコクサッキーウイルスB5型の散発流行について - 香川県

香川県におけるコクサッキーウイルスB5型(以下CB5)の分離は、1995年の流行以来、例年夏季を中心として少数の分離であったが、今(1999/2000)インフルエンザシーズンに呼吸器系疾患から、インフルエンザウイルスとともにCB5が散発流行的に分離されたのでその概要を報告する。

感染症発生動向調査定点から送付されたインフルエンザを含む呼吸器系疾患患者検体について、MDCK、FL、RD-18細胞を用い、常法によってウイルス分離を行った。

CB5の流行をウイルス分離状況からみると、香川県下のインフルエンザウイルス流行のピークである第6週に集中する傾向を示し、その流行パターンは一致した。分離41株を疾患由来別にみるとインフルエンザ疾患から26株、その他の呼吸器系疾患(咽頭炎、扁桃炎、上気道炎、気管支炎、下気道炎等)から15株が分離された。

またCB5とインフルエンザウイルスとの同時分離例が17例でみられた。Aソ連(H1)型との同時分離例が12例、A香港(H3)型で5例みられた。CB5とインフルエンザ以外のウイルスの同時分離例はなかった。しかしインフルエンザウイルスとアデノウイルス1型、2型、3型、CB3、HSV-1等の同時分離例がみられた。

また検体を材料由来別にみると咽頭ぬぐい液から39株、髄液から2株であり、髄液由来の2症例(ともに1歳女児)はいずれもインフルエンザと診断され熱性痙攣を来し、髄液、咽頭ぬぐい液からともにCB5が分離されたがインフルエンザウイルスは両症例で咽頭ぬぐい液からのみA香港型が分離されている。

なお、インフルエンザとの同時感染を検討するために同時分離例個々の患者の臨床症状について精査をしたが、インフルエンザウイルス単独分離例とCB5との同時分離例では患者間に症状の差はみられなかった。

香川県衛生研究所 亀山妙子 三木一男 山西重機

(病原微生物検出情報5月号-IASR vol.21 No.5, 2000-掲載記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

病原性大腸菌感染症(O157)の流行 - カナダ、オンタリオ州

WHO/CSR 2000年5月30日

カナダ、オンタリオ州、Walkertonで腸管出血性大腸菌O157感染症の集団発生が起こり、5人が死亡し27人が入院している。暴露は5月12-15日に起きたと考えられている。

水道供給システムでの大腸菌汚染が確認されている。5月21日保健省はWalkertonの住民に水を沸騰してから使うように指示を出した。詳しい調査が現在行われている。

ミクロネシア(ボンペイ島)におけるコレラの流行

外務省 2000年5月17日

ミクロネシア当局の情報では、ボンペイ島でコレラの流行が発生し、5月12日現在40名の入院患者と約80名の軽症の患者が出ている。5月初め、ボンペイ島キティ地区で男性200～300人が参加した長老の葬儀が4日間行われ、シャカオ(鎮静作用のある飲み物で、胡椒科の植物の根を使用して作る。あらゆる行事に欠かせない飲み物で、回し飲みをする)と呼ばれる飲み物が出された。その際、水が泥と混じり合いコレラの発生源となったと考えられる。米国海軍の医療団が既に到着して、現地医療団と各地区で医療活動を行っている。

野兎病(ツラレミア)- ドイツ

Eurosurveillance 2000年5月25日

2000年1月5日、ともに61歳の夫婦が、発熱、悪寒戦慄といったインフルエンザ様症状で、かかりつけの開業医を受診した。同医はインフルエンザと診断し、治療を行った。数日たっても症状の軽減はなく、有痛性の下顎・頸部のリンパ節腫脹が出現した。2月23日にその夫妻は他の開業医を受診し、外来でリンパ節の生検を施行された。2月28日、夫妻は大学病院の耳鼻咽喉科を紹介され、3月3日野兎病と診断された。3月5日からストレプトマイシンとドキシサイクリンによる治療が開始され、完治した。感染源は、夫妻が1999年12月29日にベルリンのレストランで食べた野ウサギの肉が疑われている。この野ウサギの肉は北部ライン川地方のWestphaliaの卸売り業者から購入されたものであったが、どこの国から輸入されたものであるかは特定できなかった。



感染症の話

VRE (Vancomycin Resistant Enterococci: バンコマイシン耐性腸球菌)

VRE(Vancomycin Resistant Enterococci: バンコマイシン耐性腸球菌)は、MRSA(Methicillin-resistant *Staphylococcus Aureus*)などグラム陽性菌に有効な抗生物質であるバンコマイシンに耐性を獲得した腸球菌であり、健常者に感染した場合は通常、無害、無症状であるが、術後患者や感染防御機能の低下した患者では、腹膜炎、術創感染症、肺炎、敗血症などの「感染症」を引き起こす場合があるため、欧米では、ICUや臓器移植ユニットなど易感染者を治療する部所で問題となっている。

疫学

1980年代の前半に欧州で最初に分離され、1990年代に入り欧州、米国などで急速に拡大し、現在、それらの地域では、ICUなどで分離される腸球菌の20%程度がVREと判定される事態に陥っている。一方、我が国では、これまでの分離報告例は、総数で50例に達しておらず、欧米と様相を大きく異にしている。しかも、便や尿からの分離例が大半を占め、いわゆる「定着例」と考えられる事例が殆どであり、VREによる「感染症」と判断された症例としては「子宮頸癌の術後骨盤内感染性嚢胞」などの報告があるものの、未だ少数である。

病原体

腸球菌は、健常者の腸管内や口腔、外陰部などに、多かれ少なかれ必ず常在する菌であり病原性が非常に弱い事が特徴である。したがって、VREは、バンコマイシンに耐性を獲得しているとは言っても生物学的な特徴は腸球菌と何ら変わらず、健常者に「感染症」を引き起こす事は極めて稀である。一部で「最強のバクテリア」と言った表現で一般の人々に紹介されることがあるが、この点は全くの誤解である。しかし、腸球菌の一種である *Enterococcus faecium* などは、術後の心内膜炎などの原因菌となりうる事が指摘されており、その意味では、全くの「非病原菌」ではない。

バンコマイシン耐性腸球菌の種類と特徴

クラス	耐性に関与する遺伝子	耐性遺伝子の所在	院内感染対策の必要性	耐性の誘導現象	感受性(MIC, µg/ml)		菌種
					VCM	TEIC	
A	vanA	plasmid	あり	あり	64 ≤	16 ≤	<i>E. faecium</i> <i>E. faecalis</i>
B	vanB	主に染色体 希にplasmid	あり	あり	16 ~ 64	≤ 1	<i>E. faecium</i> <i>E. faecalis</i> <i>E. gallinarum</i>
C	vanC	染色体	なし*	なし	4 ~ 32	≤ 1	<i>E. gallinarum</i> <i>E. casseliflavus</i> <i>E. flavescens</i>
D	vanD	染色体?	あり?	?	64	4	<i>E. faecium</i>

平成8年度 厚生科学特別研究事業 バンコマイシン耐性菌研究班
薬剤耐性菌対策に関する専門家会議 報告書 (平成9年3月) 表4 を一部修正の上転載

*複数の患者から、頻回に分離される場合は、耐性菌の院内伝播が起きやすい状況がその背景にあることが懸念されるため、実施されている院内感染対策の基本的事項の再チェックが必要な場合もある。

VREとして臨床上問題とされ、院内感染対策の対象となっているのは、vanAまたはvanB遺伝子を保有する腸球菌である。一方、vanC型VREは、今のところ、欧米でも重篤な感染症を引き起こしたとの報告は稀であり、また、「常在菌」的性格も強く、院内感染対策の対象にはなっていない。しかし、「感染症新法」では、vanC型のVREによる重症感染症の発生状況を正確に把握するため、万一、血液や髄液など通常「無菌」的な臨床材料からvanC型VREが分離された場合には報告を求めている。

また、最近、vanD、vanE型のVREも報告されているが、臨床分離例も少なくそれらの臨床的な意義や動向は十分に把握されていない。

一方、海外から輸入されている鶏肉の一部に、VREにより汚染されているものが存在することが厚生省の調査の結果明らかとなっており、国内へのVREの流入を考えた場合、公衆衛生上無視できない現実がある。したがって、汚染鶏肉が明らかになった場合には輸出国に対し対策の申し入れなどが行われ、事態の改善が図られている。

臨床症状

VREが健常者や感染防御機構の正常な患者の腸管内に感染または定着しても、下痢や発熱などの症状を呈することは無く、無症状である。したがって、そのような場合、無症状の「保菌者」となり長期間にわたって、VREを排出し続ける事例もしばしば見られる。事実、国内の多くの分離例が、無症状者の便や尿などからの偶然の分離である。

しかし、VREによる術創感染症や腹膜炎、敗血症などの感染症の症例では、患部の発赤などの炎症所見、発熱などの全身所見など一般的な細菌感染症の症状が見られる。さらに、VREが感染するような免疫状態の患者では、MRSAや緑膿菌や大腸菌など病原性の強い他の細菌が同時に混合感染を起こしている場合も多く、それらの菌の感染症による症状が前面に出ることが多い。

病原診断

薬剤感受性試験: 各医療施設において日常的に実施されている同定試験や薬剤感受性試験法により、腸球菌であって、バンコマイシンに対する判定結果が、MIC値で 16 µg/mlと判定された株が分離された場合。

PCRによる判定: バンコマイシンに耐性を示す腸球菌で、vanA、vanB遺伝子に特異的なプライマーを用いたPCR検査により、特異的なバンドが検出された場合。

disk拡散法によるVREの型別の推定方法やPCRの具体的実施方法については、<http://idsc.nih.go.jp/others/vre2.html#van> に紹介されているので、参考にされたい。

しかし、市販のVRE選択培地により分離を試みた場合、バンコマイシンに生来耐性を示す、*Leuconostoc*属、*Pediococcus*属、*Lactobacillus*属なども分離されることがあり、それらとVREとの鑑別が必要である。

治療・予防

VREが便や尿から分離されたのみで、感染症の症状を呈さない、いわゆる「定着例」と判断される症例に対しては、除菌目的の抗菌薬療法は通常行わない。

VREによる術創感染症や腹膜炎などの感染症の患者の治療は、感染巣の洗浄やドレナージ、及び抗菌薬の投与などを適宜組み合わせで行う。

抗菌薬の選択は、薬剤感受性試験結果を参考に、国内で入手が可能であり、しかも有効性が期待できる抗菌薬の中から患者の症状や基礎疾患等を考慮し、最も適切な薬剤を選択する。

また、VREと同時にMRSA、緑膿菌、大腸菌、肺炎桿菌などが分離される場合で、後者の菌が感染症状の主因と考えられる場合は、そちらの治療を優先する事も必要である。

予防手段としては、感染者または排菌者からの菌の伝播を防止する方策を第一とする。VREを排菌

している患者の介護や処置などの際に、VREにより汚染されている便や尿、ガーゼ、喀痰、膿などの処理に特に留意し、医療職員や介護者の手指や医療器具などの汚染が起きないように注意する。

VREを排菌している患者を擁する医療施設では、排菌者の隔離ではなく、VREを排菌している患者とハイリスク患者の接触をなくするようにするなどの観点からの対策が必要である。

除菌目的または予防目的の抗菌薬の「予防投薬」は行わない。

発生動向調査について

平成11年4月～平成12年5月22日までの集計分で、感染症新法に基づいて届け出られたVREは31件で、最近報告例が減少しているが、分離数の実数は必ずしも減少しているとは考えられず、欧米の状況に影響され、今後、国内分離例が増加する事は十分予想されるため、一層の警戒と対策が必要となっている。

前述の如く、国内でのVREの分離は未だ稀であり、適切な対策や行政的施策等を実施するため、その全数を把握する事が不可欠となっている。したがって、「感染症新法」ではVREの感染症症例の全例について報告義務が課せられており、さらに、便や尿から分離された「定着例」についても報告の協力が追加的に求められている。

しかし届け出をした病院が特定されるのではといったことなどに対する警戒などからか、「定着例」については、報告を見合わせる施設も少なからず存在しているようであり、新法が十分に生かされていないようである。VREの正しい状況を把握するためにはVREが検出された施設名が特定されることなどの無いよう、各段階での情報に対する管理に一層の徹底が、不可欠である。

感染症新法の中でのVRE感染症の取扱い

VRE感染症は第4類の全数把握疾患に定められており、診断した医師は7日以内に保健所に届け出る必要がある。報告のための基準は、以下の通りとなっている。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断がなされたもの。

1) vanA, vanB型

病原体の検出

血液、腹水、胸水、髄液など通常は無菌的であるべき臨床検体から分離された菌(当面は、便や尿から分離されるなど定着例が疑われるものを含む)で、以下の検査室での判断基準を満たすもの

・バンコマイシン(VCM)のMIC値が 16 μg/ml、あるいは分離菌におけるvanA, vanB遺伝子の検出

なお、バンコマイシンに生来耐性を示す *Lactobacillus*, *Pediococcus*, *Leuconostoc*, *Lactococcus* などとの鑑別が必要である。

2) vanC型

報告対象

血液、腹水、胸水、髄液など通常は無菌的であるべき臨床検体から分離された菌であって、vanC型遺伝子が検出されたもの

(国立感染症研究所 細菌・血液製剤部 荒川宜親)



読者のコーナー

〇さん(NGO)より

海外の保健衛生担当者に聞かれたのですが、感染症新法ではどのような基準で感染症を1～4類に分類しているのでしょうか？

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下、感染症新法)」における感染症の分類について

感染症新法における感染症の類型化は、公衆衛生審議会の場で専門家の方々から意見をいただいとりまとめられたものです。近年の医学医療の進歩を踏まえた上で、個々の感染症の感染力や罹患した場合の症状の重篤性などに基づいて、総合的な観点からみた危険性の高い順番になっています。

さらに、こうした危険性の程度にあわせて対人措置、対物措置や医療体制が規定されております。表1にそれを示します。

(厚生省 保健医療局 結核感染症課)

表1. 感染症類型と医療体制

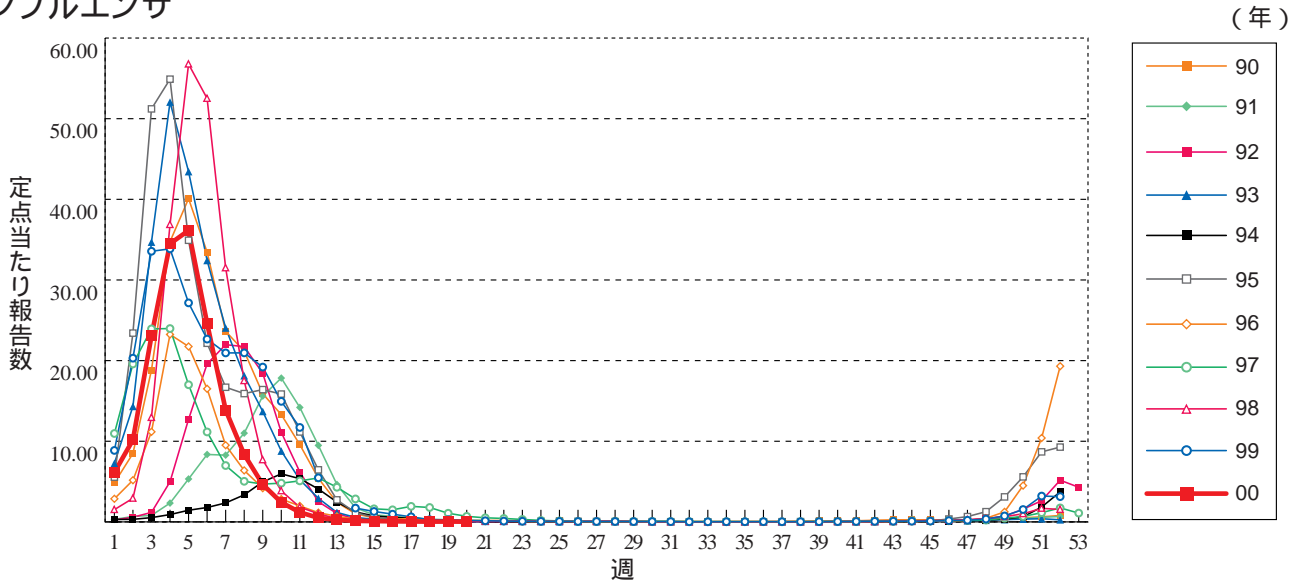
感染症類型	主な対応	医療体制	医療費負担
新感染症	都道府県 知事による 入院	特定感染症指定医療機関 (国が指定、全国に数カ所)	全額公費 (医療保険の 適用なし)
1類感染症 (ペスト、エボラ 出血熱など)		第1種感染症指定医療機関 (都道府県知事が指定、 各都道府県に1ヶ所)	医療保険適用 残額は公費で 負担(入院に ついて)
2類感染症 (コレラ、細菌性 赤痢など)		第2種感染症指定医療機関 (都道府県知事が指定、 各2次医療機関に1ヶ所)	
3類感染症 (O157感染症)	特定業務への 就業制限	一般の医療機関	医療保険適用 (自己負担 あり)
4類感染症 (インフルエンザ、 エイズなど)	発生動向の 把握・提供		

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

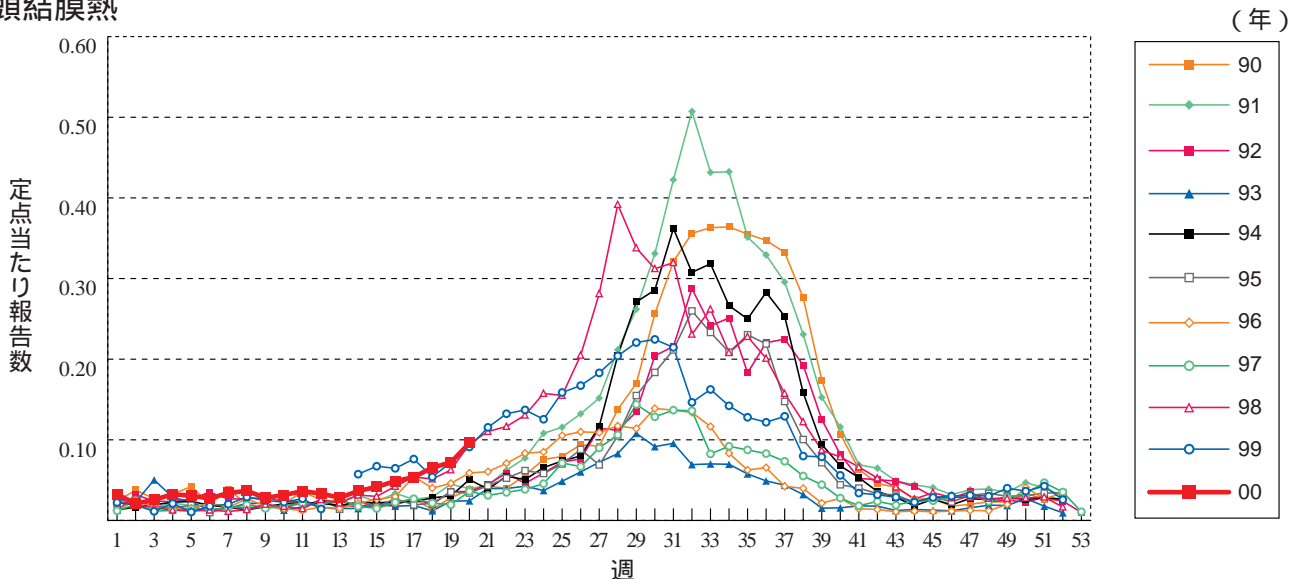
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(20週)

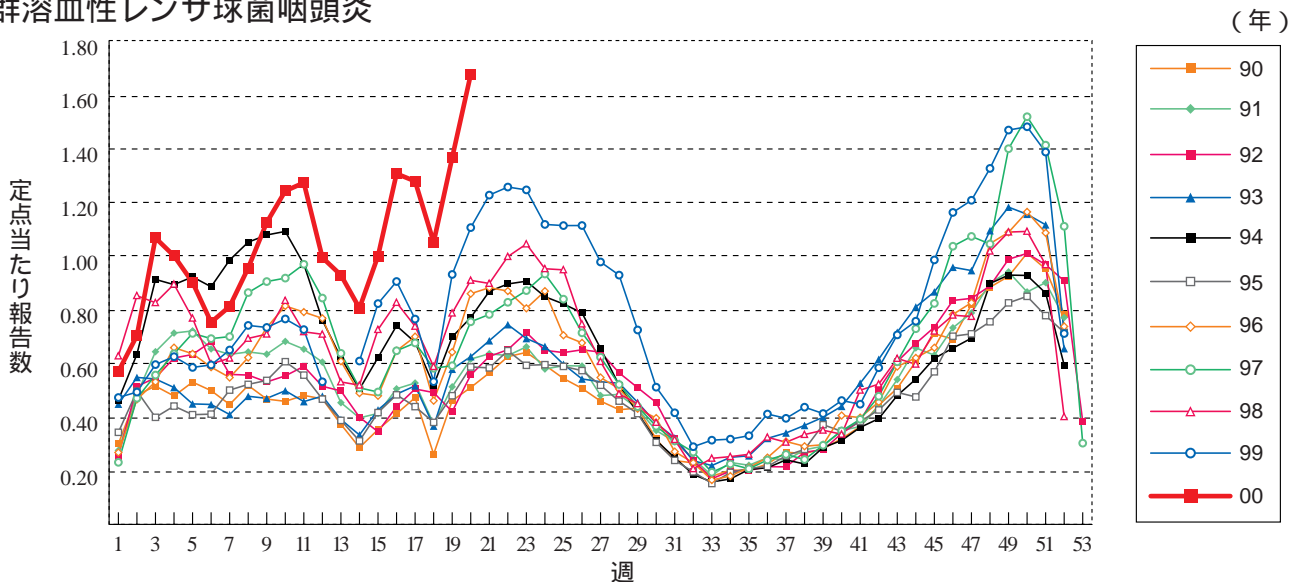
インフルエンザ



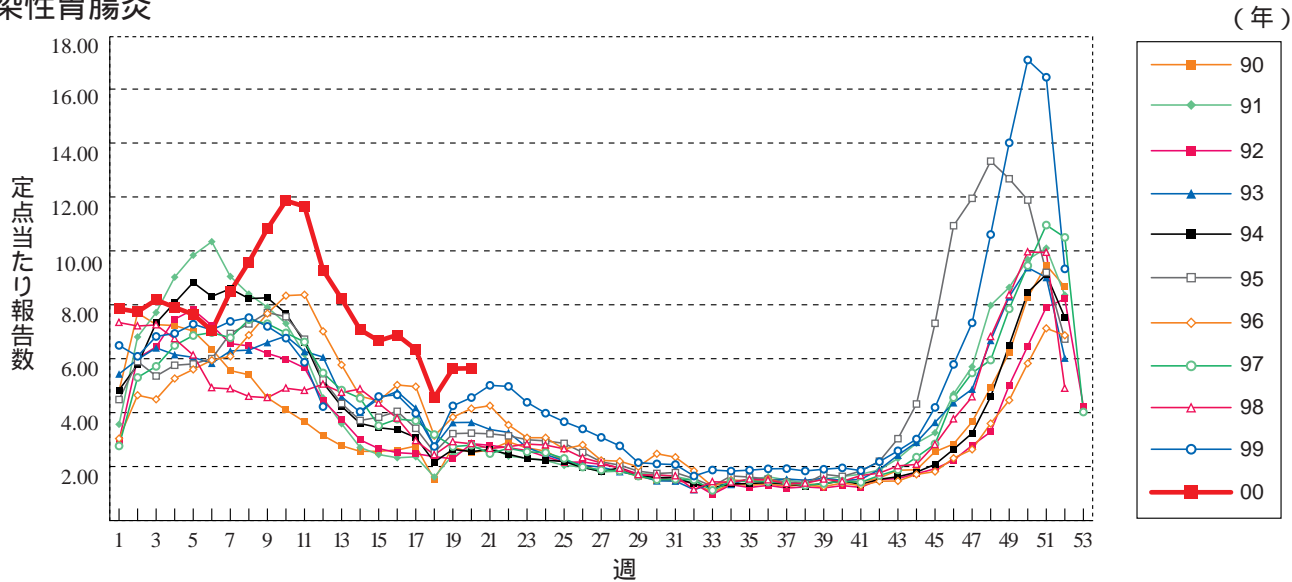
咽頭結膜熱



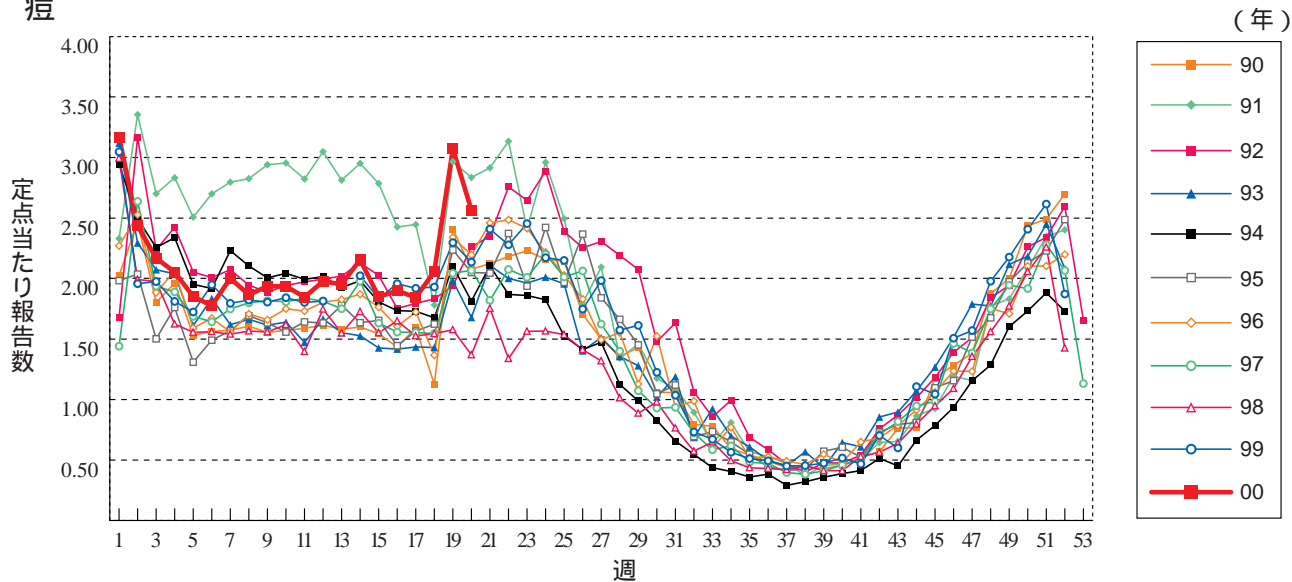
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



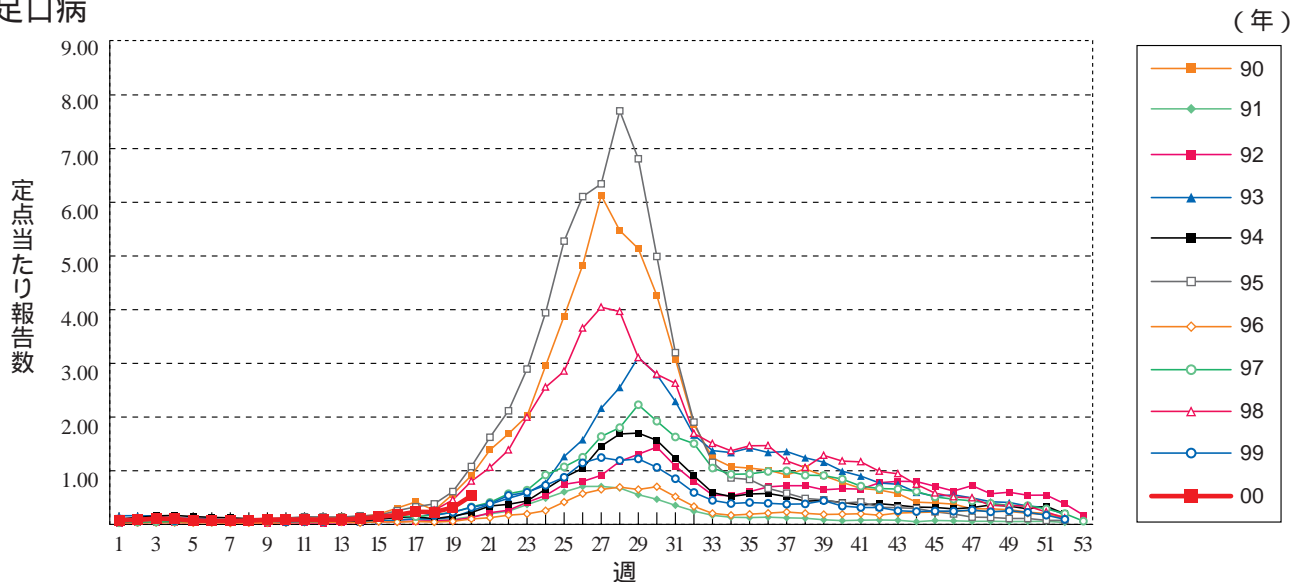
感染性胃腸炎



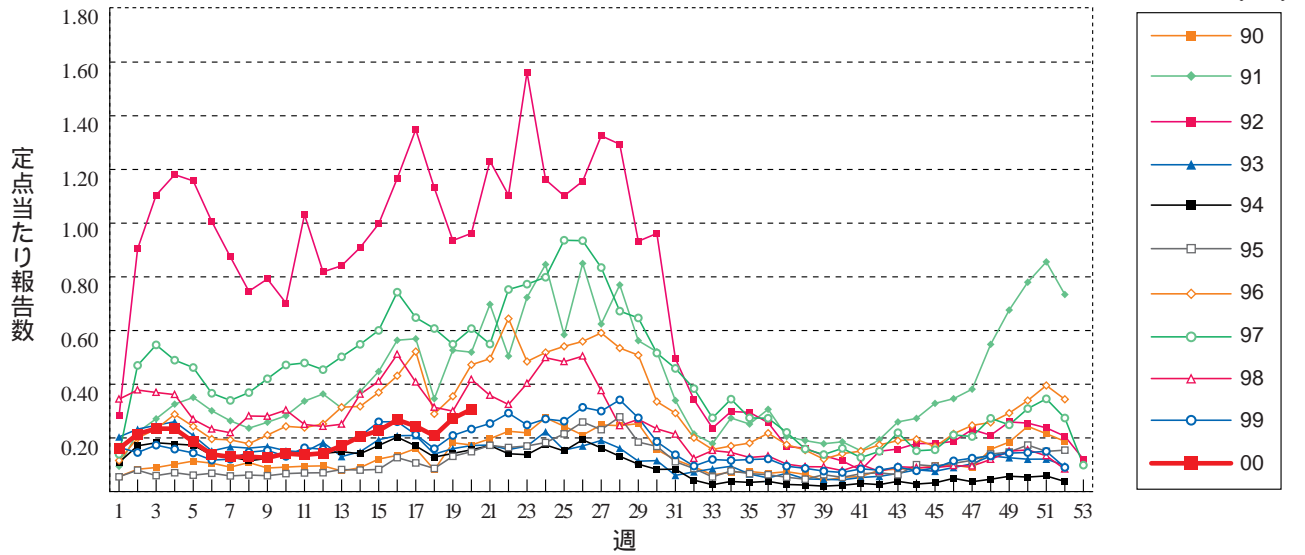
水痘



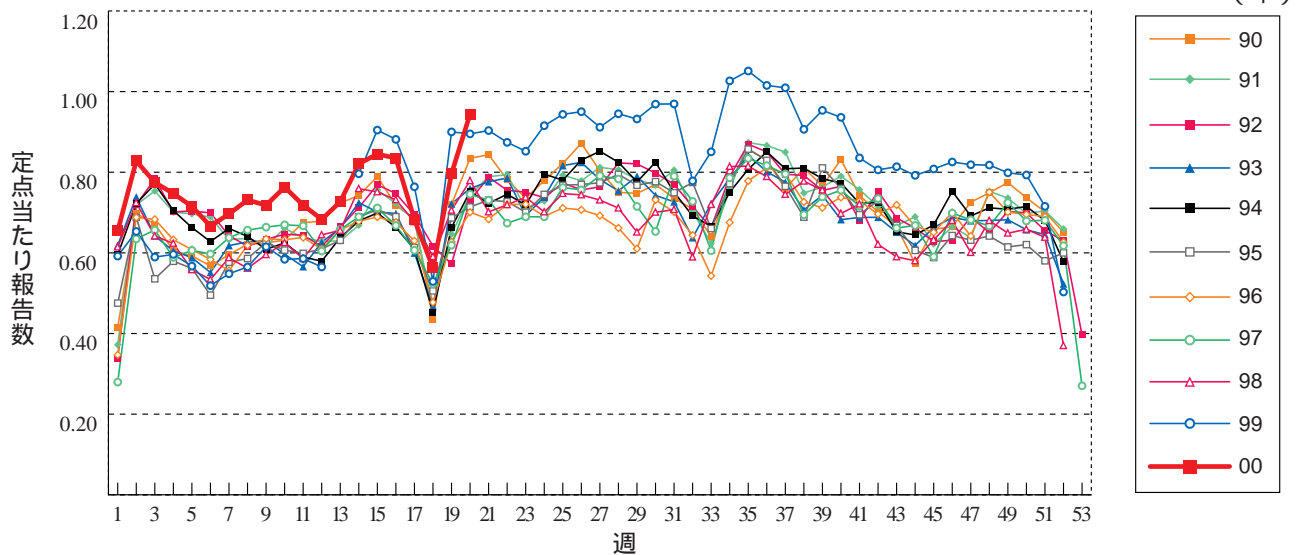
手足口病



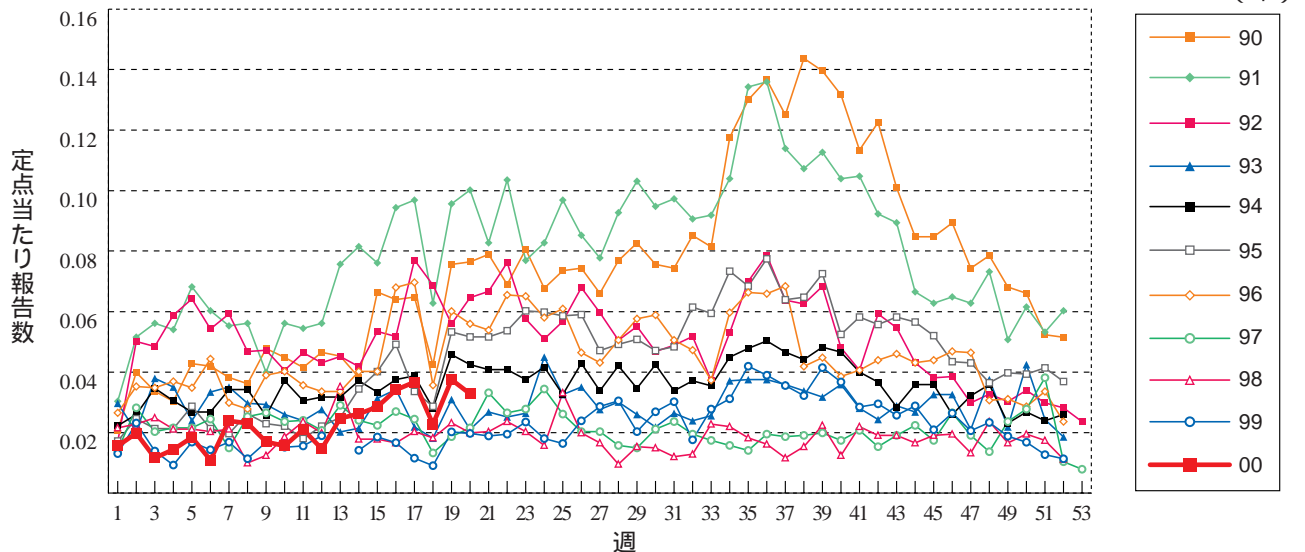
伝染性紅斑



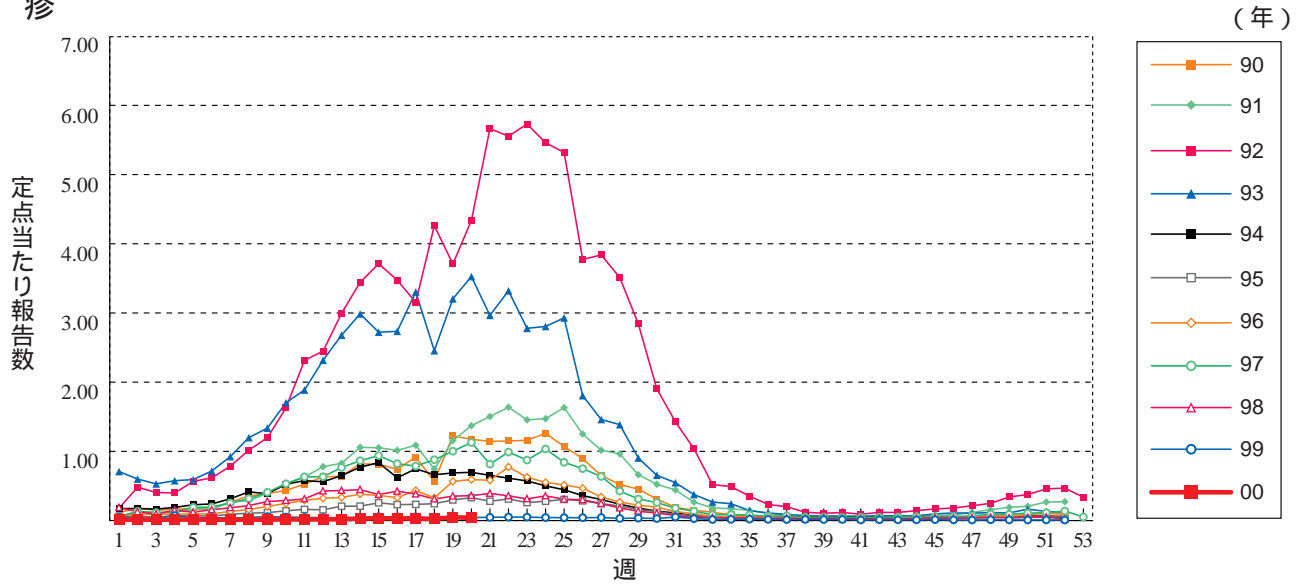
突発性発疹



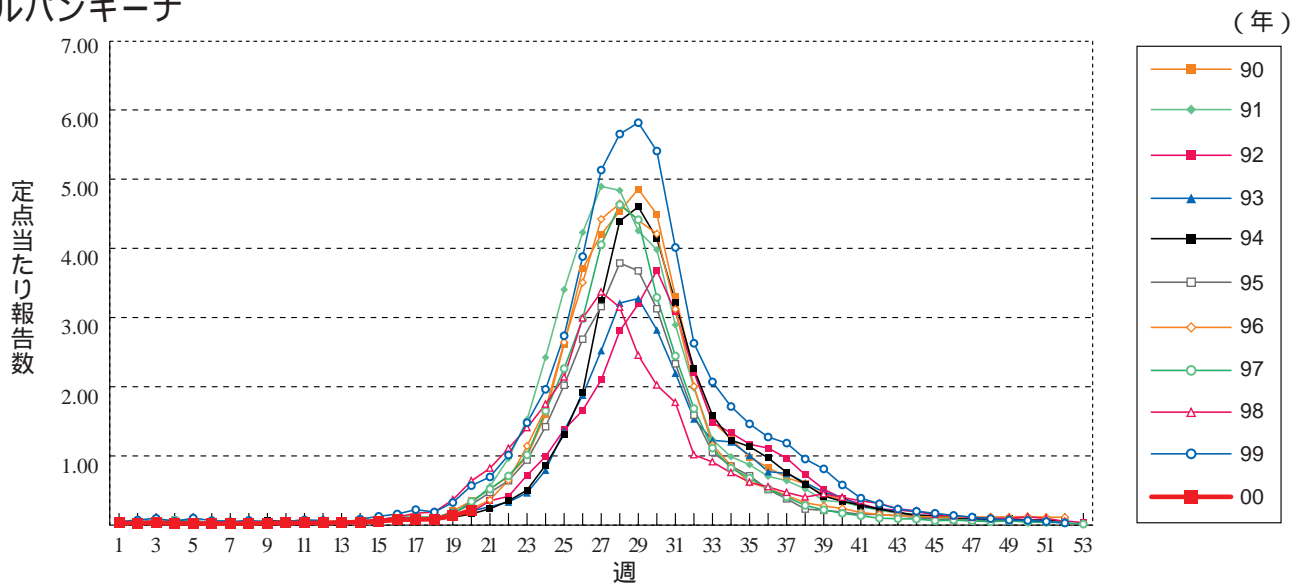
百日咳



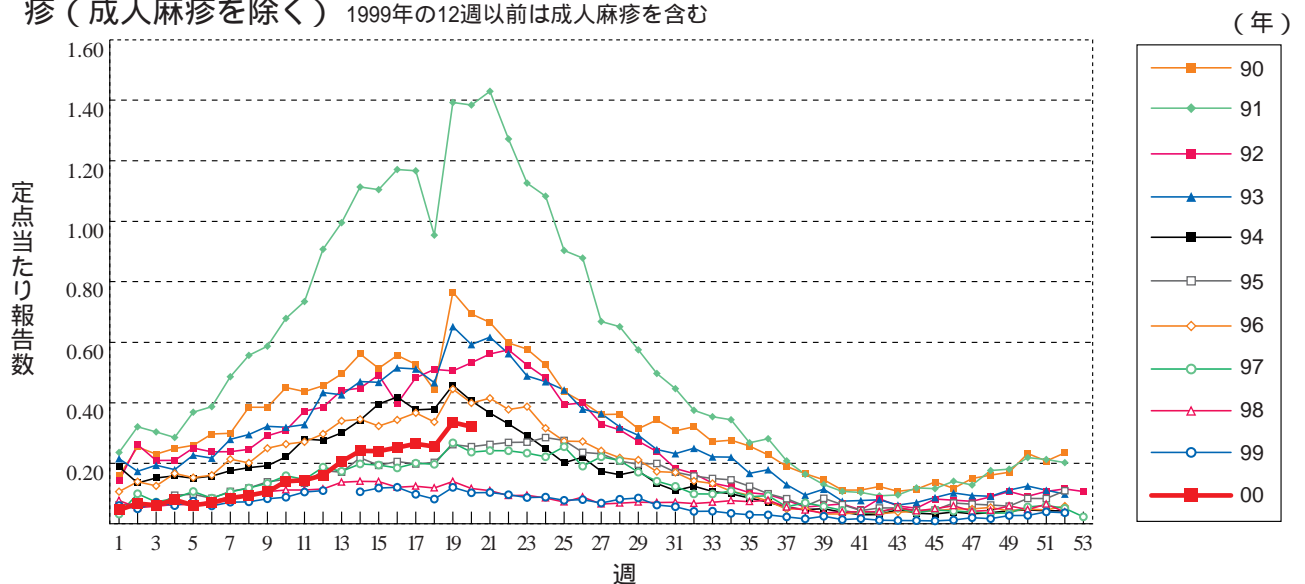
風 疹



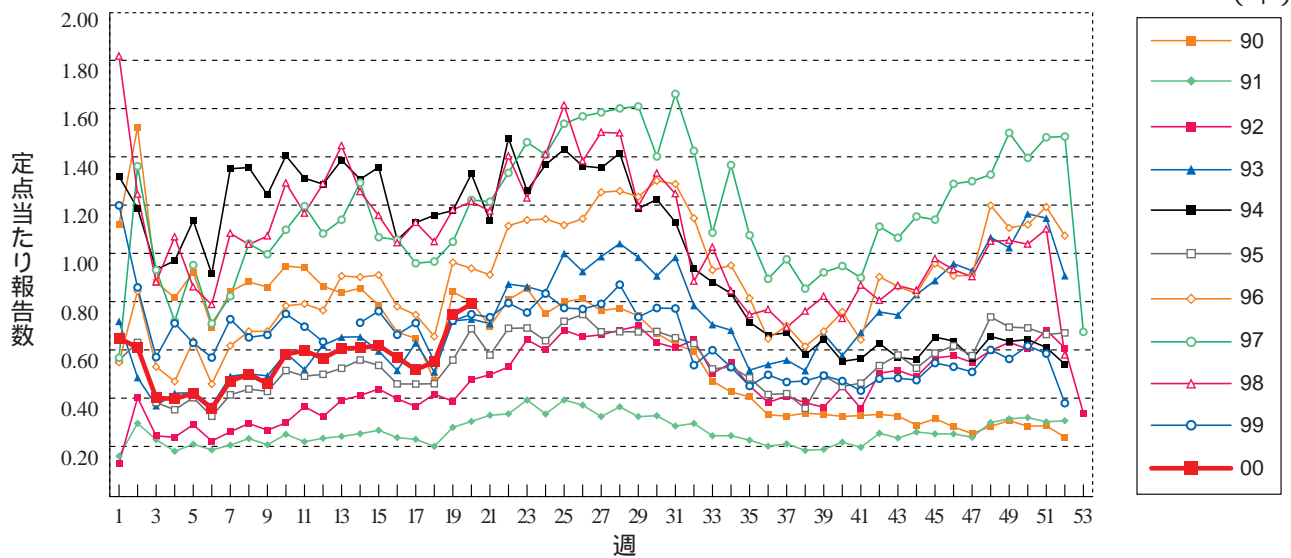
ヘルパンギーナ



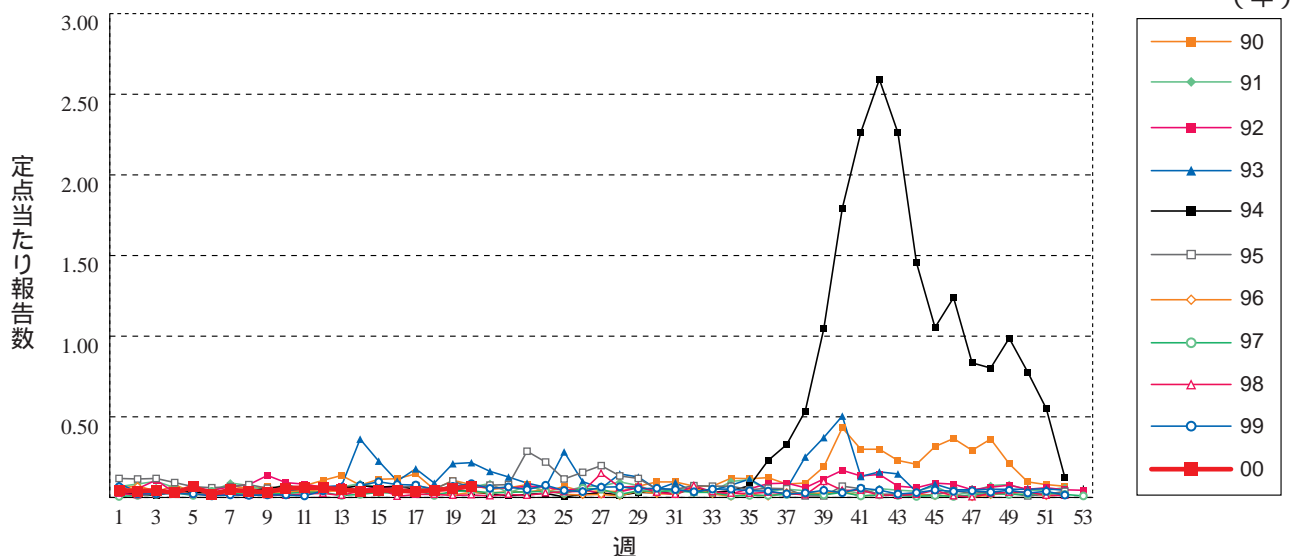
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



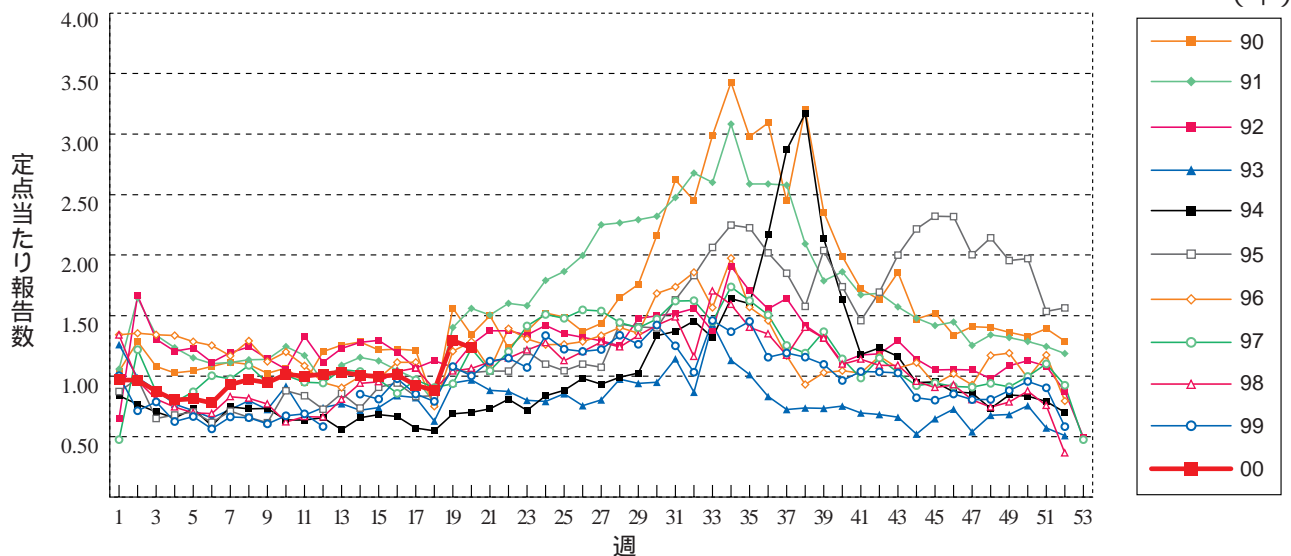
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

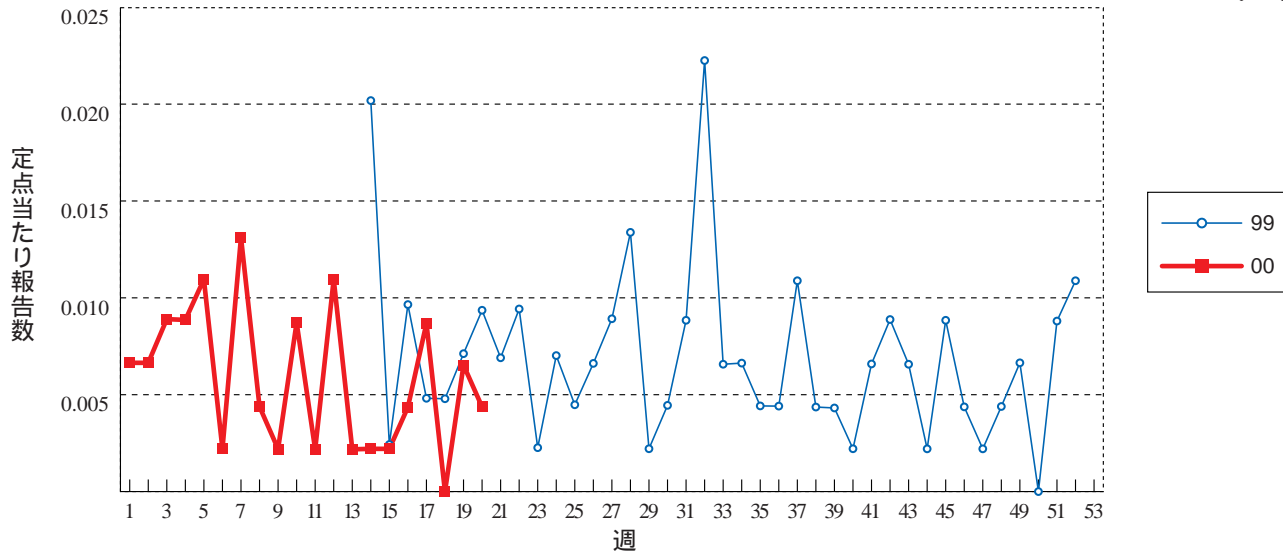


流行性角結膜炎



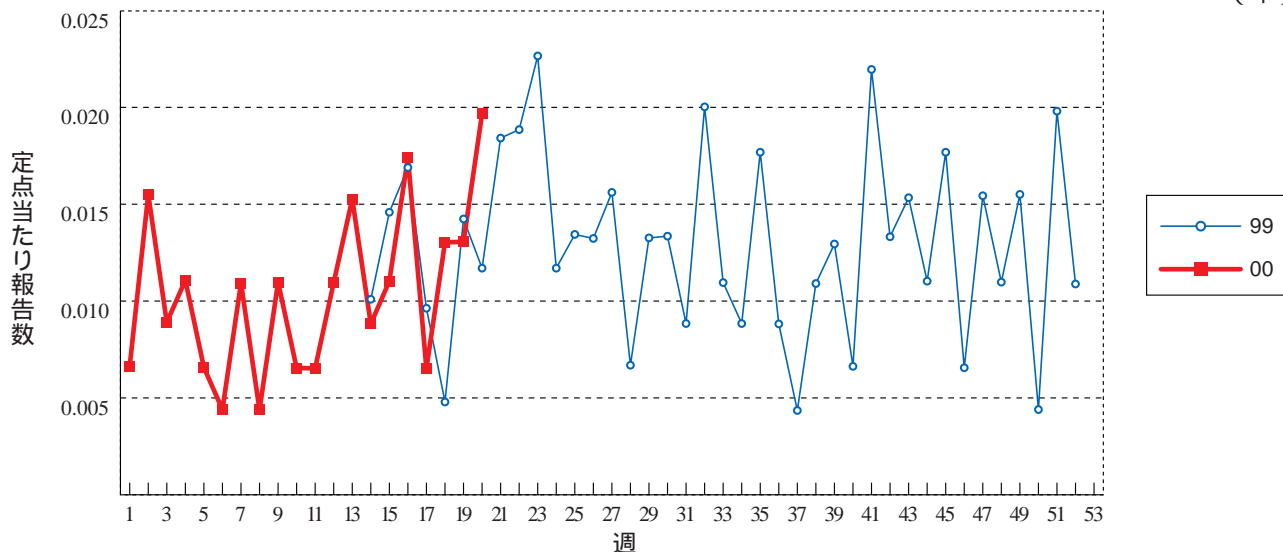
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



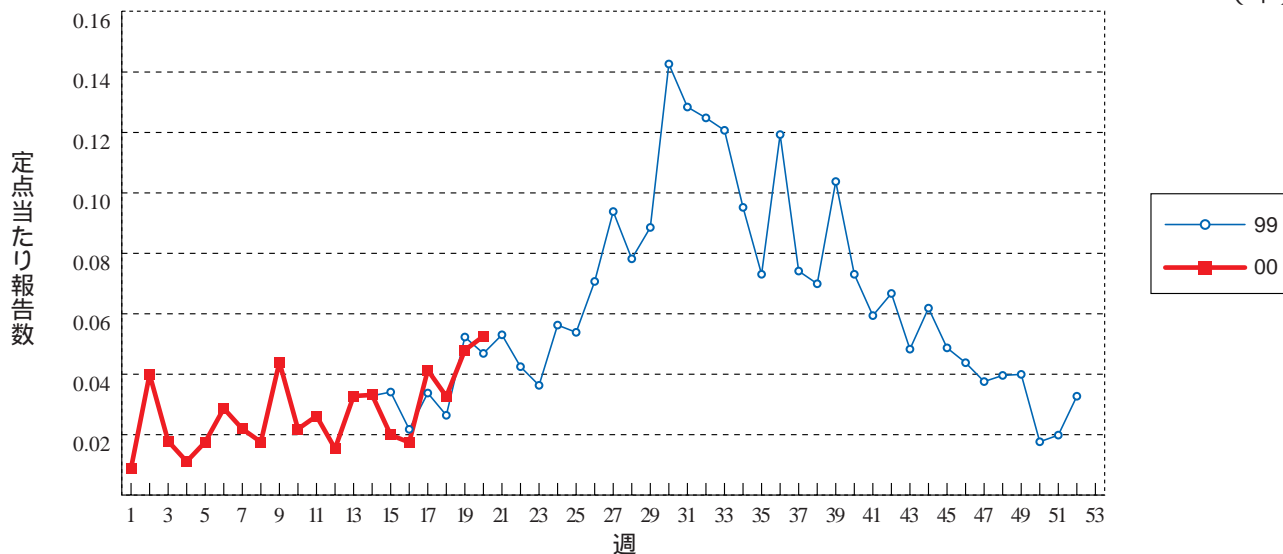
細菌性髄膜炎

(年)



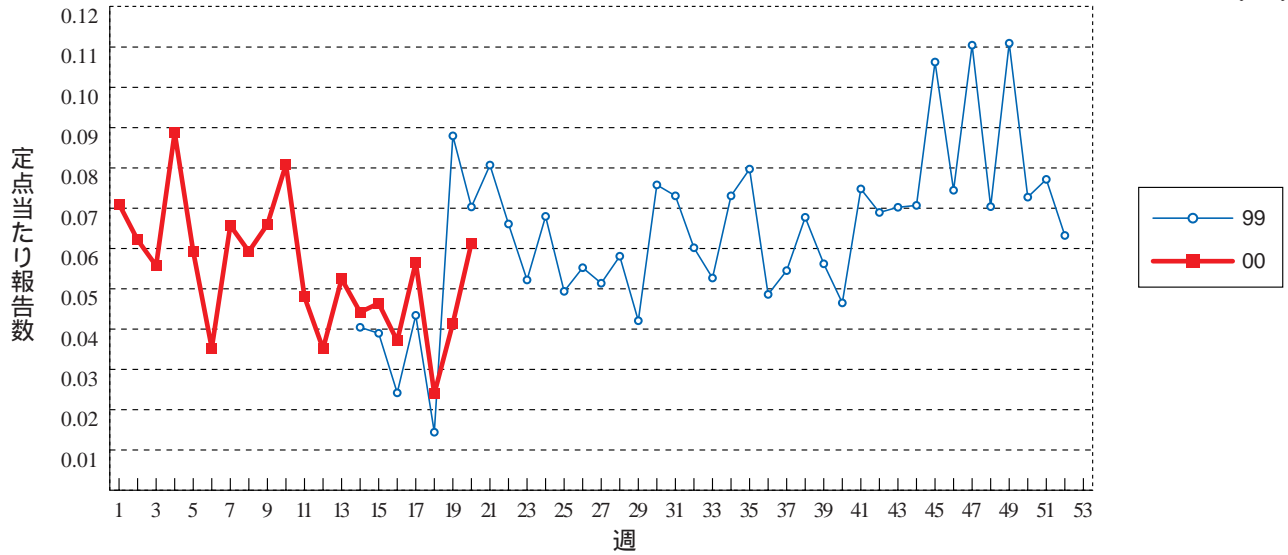
無菌性髄膜炎

(年)



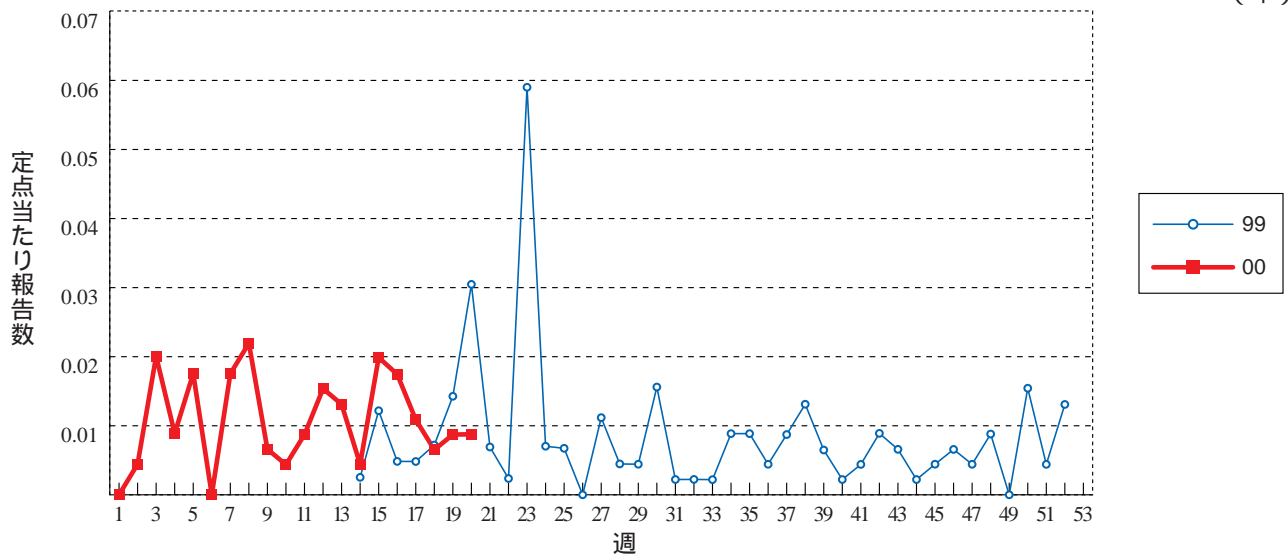
マイコプラズマ肺炎

(年)



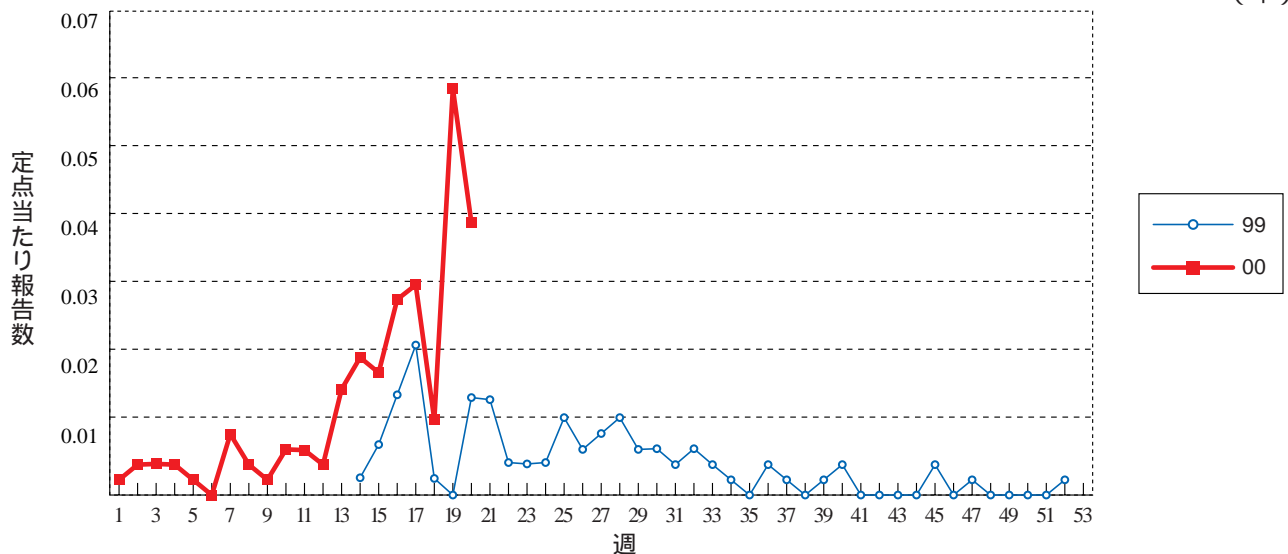
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





20週のデータ

注)表中の報告数は5月26日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年20週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15	5	305	-	44	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	7	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	1	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	60	-	8	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	23	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	23	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	32	-	4	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	4	-	1	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年20週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	1	36	343	3	128	-	4	-	-	-	4	-	-	16	418
北海道	-	-	-	-	-	13	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
秋田県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	17
埼玉県	-	-	-	-	2	7	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	1	12	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
東京都	-	-	-	-	4	29	-	39	-	-	-	-	-	1	-	-	2	51
神奈川県	-	-	-	-	-	18	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10
新潟県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
静岡県	-	-	-	-	-	6	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	18
愛知県	-	-	-	-	2	20	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
三重県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	16
大阪府	-	-	-	-	4	35	1	23	-	-	-	-	-	1	-	-	2	45
兵庫県	-	-	-	-	5	19	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	2	46
奈良県	-	-	-	-	-	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
和歌山県	-	-	-	-	9	14	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
広島県	-	-	-	-	3	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山口県	-	-	-	-	1	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	26
香川県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
高知県	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	-	38	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
佐賀県	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
大分県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
沖縄県	-	-	-	-	2	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年20週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	-	-	2	2	37	-	19	10	245	-	1	1	37	-	-
北海道	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21	-	-	-	1	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	14	-	-	-	4	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	2	18	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	3	91	-	1	-	6	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	16	-	-	-	6	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	5	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	15	-	-	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	7	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年20週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ポツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	8	-	-	-	-	8	83	-	2	1	2	-	-	-	-	11	282
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
青森県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	42
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	56
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	26
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年20週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	23	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	2	68	-	2	1	62
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2
東京都	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	24	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別

平成12年20週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	132	0.03	287	0.10	4999	1.67	16914	5.66	7662	2.57	1592	0.53	913	0.31	2820	0.94	98	0.03
北海道	1	0.00	11	0.08	195	1.34	463	3.19	269	1.86	19	0.13	74	0.51	98	0.68	2	0.01
青森県	12	0.19	-	-	26	0.63	69	1.68	62	1.51	4	0.10	24	0.59	24	0.59	-	-
岩手県	3	0.05	3	0.08	40	1.05	99	2.61	58	1.53	1	0.03	17	0.45	39	1.03	3	0.08
宮城県	21	0.22	3	0.05	118	2.00	409	6.93	183	3.10	4	0.07	53	0.90	68	1.15	-	-
秋田県	3	0.05	-	-	59	1.69	265	7.57	61	1.74	1	0.03	5	0.14	31	0.89	-	-
山形県	2	0.04	1	0.03	62	2.14	221	7.62	76	2.62	17	0.59	23	0.79	41	1.41	2	0.07
福島県	-	-	-	-	61	1.27	313	6.52	127	2.65	6	0.13	20	0.42	46	0.96	4	0.08
茨城県	5	0.05	-	-	123	1.71	289	4.01	105	1.46	8	0.11	32	0.44	42	0.58	1	0.01
栃木県	1	0.01	2	0.04	140	3.11	179	3.98	67	1.49	35	0.78	1	0.02	44	0.98	1	0.02
群馬県	-	-	1	0.02	184	2.97	262	4.23	148	2.39	69	1.11	13	0.21	54	0.87	-	-
埼玉県	5	0.02	25	0.15	402	2.48	1087	6.71	382	2.36	62	0.38	44	0.27	170	1.05	5	0.03
千葉県	3	0.01	7	0.05	411	3.09	658	4.95	442	3.32	14	0.11	87	0.65	124	0.93	2	0.02
東京都	14	0.08	4	0.03	105	0.74	536	3.77	234	1.65	18	0.13	44	0.31	90	0.63	-	-
神奈川県	10	0.03	20	0.10	361	1.75	977	4.74	498	2.42	56	0.27	137	0.67	228	1.11	1	0.00
新潟県	-	-	12	0.20	174	2.90	420	7.00	212	3.53	-	-	33	0.55	59	0.98	8	0.13
富山県	-	-	-	-	69	2.38	178	6.14	91	3.14	1	0.03	9	0.31	17	0.59	-	-
石川県	1	0.02	-	-	42	1.45	205	7.07	100	3.45	4	0.14	5	0.17	13	0.45	1	0.03
福井県	-	-	-	-	46	2.09	265	12.05	87	3.95	3	0.14	2	0.09	24	1.09	-	-
山梨県	2	0.05	-	-	34	1.36	80	3.20	52	2.08	1	0.04	2	0.08	5	0.20	-	-
長野県	-	-	6	0.12	88	1.73	340	6.67	114	2.24	2	0.04	22	0.43	35	0.69	3	0.06
岐阜県	4	0.05	3	0.06	106	2.00	210	3.96	132	2.49	6	0.11	1	0.02	44	0.83	2	0.04
静岡県	1	0.01	5	0.07	136	1.79	493	6.49	315	4.14	20	0.26	17	0.22	123	1.62	4	0.05
愛知県	-	-	23	0.13	298	1.64	789	4.34	512	2.81	30	0.16	70	0.38	187	1.03	2	0.01
三重県	1	0.01	7	0.16	56	1.24	356	7.91	129	2.87	23	0.51	1	0.02	61	1.36	1	0.02
滋賀県	1	0.02	16	0.50	46	1.44	94	2.94	74	2.31	7	0.22	1	0.03	11	0.34	-	-
京都府	9	0.07	2	0.03	62	0.83	493	6.57	143	1.91	8	0.11	5	0.07	70	0.93	2	0.03
大阪府	4	0.01	37	0.20	227	1.20	744	3.94	495	2.62	152	0.80	23	0.12	179	0.95	12	0.06
兵庫県	3	0.02	27	0.21	181	1.41	904	7.06	449	3.51	31	0.24	24	0.19	144	1.13	3	0.02
奈良県	-	-	-	-	52	1.49	212	6.06	86	2.46	62	1.77	6	0.17	26	0.74	3	0.09
和歌山県	-	-	7	0.23	27	0.87	147	4.74	90	2.90	46	1.48	2	0.06	31	1.00	1	0.03
鳥取県	-	-	2	0.11	100	5.26	319	16.79	59	3.11	16	0.84	1	0.05	19	1.00	1	0.05
島根県	-	-	-	-	17	0.74	116	5.04	47	2.04	1	0.04	-	-	16	0.70	2	0.09
岡山県	2	0.02	15	0.28	66	1.22	319	5.91	101	1.87	6	0.11	8	0.15	41	0.76	2	0.04
広島県	-	-	7	0.09	66	0.88	520	6.93	163	2.17	21	0.28	2	0.03	69	0.92	4	0.05
山口県	-	-	6	0.12	116	2.37	564	11.51	215	4.39	9	0.18	4	0.08	62	1.27	1	0.02
徳島県	-	-	1	0.04	18	0.78	140	6.09	54	2.35	12	0.52	1	0.04	19	0.83	1	0.04
香川県	-	-	3	0.09	31	0.97	188	5.88	59	1.84	3	0.09	7	0.22	33	1.03	-	-
愛媛県	-	-	13	0.33	70	1.79	421	10.79	108	2.77	21	0.54	16	0.41	45	1.15	1	0.03
高知県	-	-	2	0.06	34	1.10	115	3.71	72	2.32	6	0.19	3	0.10	16	0.52	1	0.03
福岡県	-	-	-	-	64	0.81	452	5.72	113	1.43	54	0.68	14	0.18	39	0.49	2	0.03
佐賀県	-	-	-	-	45	1.96	152	6.61	68	2.96	79	3.43	7	0.30	40	1.74	-	-
長崎県	-	-	1	0.02	35	0.80	179	4.07	85	1.93	113	2.57	3	0.07	37	0.84	1	0.02
熊本県	-	-	4	0.08	72	1.47	335	6.84	179	3.65	385	7.86	11	0.22	81	1.65	10	0.20
大分県	-	-	1	0.03	57	1.58	509	14.14	150	4.17	19	0.53	20	0.56	44	1.22	3	0.08
宮崎県	3	0.05	3	0.08	194	5.24	385	10.41	116	3.14	12	0.32	11	0.30	63	1.70	-	-
鹿児島県	18	0.18	6	0.10	65	1.08	421	7.02	175	2.92	118	1.97	6	0.10	52	0.87	2	0.03
沖縄県	3	0.05	1	0.03	18	0.53	22	0.65	105	3.09	7	0.21	2	0.06	16	0.47	4	0.12

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年20週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	121	0.04	648	0.22	958	0.32	2380	0.80	43	0.07	773	1.23	2	0.00	9	0.02	24	0.05
北海道	2	0.01	10	0.07	21	0.14	116	0.80	-	-	13	0.45	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.05	10	0.24	4	0.10	44	1.07	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	20	0.53	30	0.79	11	0.29	2	0.17	14	1.17	-	-	1	0.05	-	-
宮城県	-	-	16	0.27	5	0.08	9	0.15	2	0.18	8	0.73	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	7	0.20	1	0.03	29	0.83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	4	0.14	-	-	10	0.34	-	-	6	0.75	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	10	0.21	5	0.10	20	0.42	3	0.25	13	1.08	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	3	0.04	43	0.60	36	0.50	-	-	58	3.63	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	16	0.36	33	0.73	14	0.31	-	-	37	3.08	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	20	0.32	5	0.08	130	2.10	1	0.07	22	1.57	-	-	-	-	-	-
埼玉県	4	0.02	36	0.22	29	0.18	186	1.15	2	0.06	41	1.17	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	22	0.17	19	0.14	113	0.85	139	1.05	5	0.15	52	1.53	-	-	-	-	-	-
東京都	8	0.06	37	0.26	19	0.13	81	0.57	-	-	31	2.21	-	-	-	-	2	0.08
神奈川県	8	0.04	25	0.12	40	0.19	203	0.99	6	0.14	72	1.71	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	-	-	8	0.13	-	-	35	0.58	-	-	8	0.89	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	2	0.07	1	0.03	9	0.31	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	7	0.24	1	0.03	2	0.07	-	-	4	0.57	-	-	1	0.20	1	0.20
福井県	1	0.05	1	0.05	-	-	5	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.04	-	-	-	-	4	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	10	0.20	1	0.02	21	0.41	1	0.10	17	1.70	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	22	0.42	32	0.60	24	0.45	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
静岡県	5	0.07	27	0.36	18	0.24	173	2.28	-	-	22	1.22	-	-	-	-	4	0.50
愛知県	7	0.04	38	0.21	15	0.08	144	0.79	1	0.03	32	0.91	-	-	1	0.08	-	-
三重県	1	0.02	8	0.18	17	0.38	74	1.64	-	-	6	0.50	-	-	-	-	1	0.13
滋賀県	1	0.03	4	0.13	36	1.13	8	0.25	-	-	19	2.71	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	1	0.01	24	0.32	31	0.41	-	-	12	0.67	-	-	-	-	-	-
大阪府	7	0.04	57	0.30	233	1.23	85	0.45	6	0.12	33	0.63	-	-	-	-	-	-
兵庫県	5	0.04	16	0.13	43	0.34	132	1.03	-	-	31	0.89	-	-	1	0.07	2	0.14
奈良県	2	0.06	3	0.09	23	0.66	27	0.77	2	0.22	20	2.22	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	42	1.35	7	0.23	-	-	7	1.75	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	10	0.53	1	0.05	12	0.63	-	-	3	1.00	1	0.20	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	4	0.17	21	0.91	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	17	0.31	36	0.67	29	0.54	1	0.08	17	1.42	-	-	1	0.20	-	-
広島県	3	0.04	17	0.23	17	0.23	102	1.36	2	0.10	21	1.05	-	-	1	0.05	2	0.10
山口県	-	-	12	0.24	-	-	87	1.78	1	0.11	12	1.33	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.04	5	0.22	8	0.35	2	0.09	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	3	0.09	20	0.63	13	0.41	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.03	4	0.10	3	0.08	14	0.36	3	0.43	18	2.57	-	-	-	-	1	0.17
高知県	5	0.16	17	0.55	19	0.61	43	1.39	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	0.01	11	0.14	4	0.05	24	0.30	-	-	5	0.28	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	2	0.09	1	0.04	33	1.43	-	-	3	0.75	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	1	0.02	8	0.18	3	0.07	21	0.48	5	0.63	13	1.63	-	-	-	-	-	-
熊本県	5	0.10	42	0.86	2	0.04	99	2.02	-	-	26	2.89	1	0.07	-	-	8	0.53
大分県	2	0.06	41	1.14	2	0.06	11	0.31	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	23	0.62	14	0.38	1	0.03	46	1.24	-	-	18	4.50	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	1	0.02	3	0.05	2	0.03	11	0.18	-	-	5	0.83	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	-	-	4	0.12	1	0.03	3	0.09	-	-	23	2.30	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年20週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	28	0.06	4	0.01	18	0.04
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	2	0.11	-	-	2	0.11
宮城県	4	0.33	2	0.17	-	-
秋田県	3	0.43	-	-	-	-
山形県	1	0.11	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	4	0.16
神奈川県	1	0.09	-	-	3	0.27
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	-	-	1	0.20	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	-	-	-	-
長野県	2	0.18	1	0.09	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.08	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1	0.17
大阪府	-	-	-	-	2	0.25
兵庫県	2	0.14	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-
山口県	1	0.11	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	2	0.29
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	6	0.86	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第20号 平成12年6月2日発行
発行：国立感染症研究所

厚生省保健医療局結核感染症課
厚生省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>
http://www.mhw.go.jp/
<厚生省>
http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/
<成田空港検疫所>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。